

**事業所名** グループホーム ねむの樹

日付 平成 20年 8月 20日

**評価機関名** 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 元小学校教諭  
元婦人相談員

介護経験歴7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

国道から少し入った住宅街にあり、田園が見渡せて季節の感じられる施設である。施設内は庭の利用に工夫を凝らしている。また、清掃も行き届いて清潔感があり、机や椅子も設置され、入居者が落ち着いてストレス無く暮らしている。そして、職員が入居者と接する時にも親しみのある言葉かけや気配りに留意し対応している様子を感じられた。

これからの課題として、入居者の体力維持を考え歩行訓練の器具を活用して寝たきりや車椅子状態になるのを遅らせるように支援していく計画を前向きに立てていた。

近辺で得られる動植物の飼育栽培を取り入れ、上手く活用しながら潤いある生活へ役立てようとしている。また、施設内に給水タンクを備え付けていて災害時に近所の住民の避難場所提供や訓練の協力をアピールして行き、地域との交流を深めていこうとしている。

**特に改善の余地があると思われる点(記述式)**

買い物への参加は、全員の参加を願っているが、一部の可能な人に片寄り易い状態である。(金銭については、立て替えたり、家族と協議の上で持たせたりするよう管理している。)生活空間に影響する装飾については、内容・量・展示方法・スペース等に更なる工夫が必要である。そして、すっきりとした雰囲気の中で喜び、落ち着き、希望を織り込むことが大切である。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権を守り、家庭的な生活が出来るように支援する。</li> <li>・ 安心と思いやり、「愛」から幸せが感じられるように日常生活に細心の感覚を重視する。</li> <li>・ 明日への希望が湧いて来て、維持・継続できる環境を整備する心情を大切にする。</li> </ul>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員が一途に仕事をこなすのではなく、入居者のリズムで暮らしが流れるように合わせスタッフが家族の一員の気持ちで接して行くよう心掛けている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>生き物(ウサギや泥鰌等)の飼育栽培を好む入居者に管理してもらい、生甲斐としている。また、個々の趣味を活かして、塗り絵や編み物などをしてもらっている。</p> <p>自室の入口に個性的な工夫を加味した暖簾を掛け、プライバシーの保護と併せて室内の換気・保温にも気遣いしている。また、入居者の過去の人生を他の入居者に伝えない方が良い事(場合)があるので留意している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>入居者の気分を爽快に保つため、残存機能を活かした生活が出来るよう趣味がある人には材料を揃えたり、体力維持のため歩行訓練器の配置をしたりして、あらゆる細分点に心を砕き、職員それぞれが願いや思いを持つことを大切にしていこうとしている。</p> <p>精神面では言葉遣いに注意して対応するとか、暮らし振りでは、転倒の恐れがあればベッドから畳みへ変えたりとか個々の向上への対応の分別や体力、能力の差など苦慮することが多く、迷い困っている事もありますが、スタッフが向上心を燃やすことが基本になると考え、協力し合い話し合っ、入居者の喜びに繋げるよう心身ともに環境も含めてより明るく働きかけて行くよう努めている。</p>		